



こみゅーと

「コミュニティユニオン東京」ニュース N0175号 2024年9月25日
170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館3F
TEL 03-3946-9277 FAX 03-5395-3242 E-mail staff@cutokyo.jp
<http://www.cutokyo.jp> 「こみゅーと」ラテン語「流れを変える」
「こみゅーと」バックナンバーをホームページで読めます

支部の確立強化

組合の「活動参加」の推進で60人支部の実現を！

練馬支部第15回定期大会



そこに組合があったから守られた雇用と権利
注目集まる個人加盟の地域労組 **学習交流集会**

11月16日（土）

13：30開会

エデュカス東京（麴町） 地下会議室

問題提起コーディネーター
経験交流など

後藤道夫さん 都留文化大学名誉教授

参加費無料

《支部大会開かれる》

画期的な判決を勝ち取った ユニオンちよだ



「ユニオンちよだ」は、2024年8月24日（土）エデュカスにて第18回定期大会を開催しました。

今年は35名の出席の中、鈴木真理委員長からの開会の挨拶で始まりました。来賓挨拶では、CU東京から小川副委員長、千代田区労協からは茂呂議長、共産党千代田地区鈴木秀治労働部長からそれぞれ激励の挨拶をいただきました。

争議の経過報告では、この1年で21件が解決し、現在も24件が交渉中であることや、都労委への救済申立て3件が審議中で、係争中案件は6件であることが報告されました。

今年は、AGCグリーンテックの画期的な判決を勝ち取った組合員Aさんも参加し、裁判の内容や今後の交渉方針などの報告がありました。分会結成では、今年はメディカルトリビューン分会、ゼンデスク分会の結成が承認されました。

今回、サプライズゲストとして、大和ハウス争議の白林さんご両親が第2部の交流会から参加され大変盛り上がりしました。

大会で選出された次期役員は次の通りです。

- 執行委員長 鈴木真理
 - 書記長 鈴木明彦
 - 執行委員 香取義和・小番孝也・宮下景子・中野猛司・増淵保志・内田浩（新）・森政蔵（新）池田聡
 - 会計監査 眞鍋泰治・青木和代
- （書記長 鈴木明彦）

60人支部の確立を

練馬支部

（写真一面）

台風10号の影響が心配される中、8月30日 土建練馬支部会館3階において、組合員17名の参加で開催しました。

前段の学習会に一般の方5名が参加！

昨年に続き、前半に学習会を企画（「不安定雇用を生きる青年・女性労働者と労働運動」杉田真衣さん東京都立大）、組合宣伝を兼ねて新婦人新聞 赤旗新聞に学習会チラシ（1850枚）の折り込みを行った結果、「チラシを見てきました」と、5名が参加されました。「周りに困っている人がいたら、連絡すればいいんだね」と、帰り際に確認された男性の言葉に、成果を感じた次第です

支部の確立強化 組合の「活動参加」の推進で60人支部の実現を！

CU東京寺川副委員長、日本共産党からとや都議、島田区議から、ご挨拶を頂きました。委任状合わせ、過半数で大会成立を確認後、議事が進行されました。

今年度は、新婦人、練馬土建などとの懇談、慈雲堂労組への要請、勤労福祉会館にパンフ配置など、拡大運動を行って来ましたが、新規加入者より脱会者が上回ってしまう結果となりました。方針では、60人支部の確立を目指し、練馬労連の協力を得ながら、労働相談の増加や体制の確立を行い、区内民主団体など関連団体との懇談を更に広げ、拡大に努めていくことが確認されました。

- 執行委員長 岸田幸雄
- 会計 伊藤悦子
- 副執行委員長 市瀬正樹
- 会計監査 佐藤稔
- 書記長 桑原研二
- 執行委員 萩元元子 坂尻正行 高畠素昭

（会計 伊藤悦子）

地域の要求に応え 200人の支部組織をめざす あだち支部



9月7日、足立支部は東京土建足立支部会館にて第12回定期総会を開きました。総会には今までにない多数の組合員が参加、会場には23名の代議員が出席、63名の委任状が寄せられました。本部・白滝書記長はじめ激励の来賓挨拶を受けました。

この間、CU東京に団結し、一人でも参加できる地域の労働組合「駆け込み寺」として、なんでも相談に応じ、組合員の声に耳を傾け問題解決に尽くしてきました。特に、労働相談活動に力を入れて年間21件の相談活動を通し10件の労働事案を解決してきました。ドライバーの労働条件改善、警備員の雇止め阻止など組合員と団結し解雇撤回、賃金改善など成果を勝ち取りました。今現に抱えている問題も病院の看護師さん不足から大量退職、未払残業代支給の闘いに発展しています。特養ホームでの解雇撤回事件、警備員の不当解雇問題等10件以上の要求解決に組合員はもとより、本部争議対策委員会の支援を受けながら闘いを進めていきます。

さらに組織も闘いつつ増やして行く決意です。

(書記長 高島)

《活動報告》

ビアパーティー 猛暑に負けず 生ビールで生き返った CU品川支部

うだる暑さが続く中、CU品川は8月4日日曜日、13時半から品川区中小企業センターでビアパー



ティーを27名で開催した。19リットルの生ビール樽を用意し、執行委員が買い出した8種類の弁当を各自選んでもらい始まりました。

池野支部執行委員長の挨拶の後、本部の岩田書記次長より最近の労働相談でのジェンダー平等に関して勝利判決を勝ち取った話があり、組合員一人でも団交で闘えるCUの優位性が確認できました。生ビールで乾杯の後、自己紹介や労働相談などの質問などがありました。

懇談に移り、1000円会費なので、安く上げようとスーパーで買い出したツマミで、お腹がいっぱいになりかけたころ、〇×クイズに入り、一等から五等まで全員に日用品が当たりました。特に、1等は友人参加した小学生の娘さんが首の周りを冷やすコールドリングをゲットし、喜んでいました。次に、紅白玉入れ合戦を二手に分かれおこない、池野委員長の頭の上に玉入れ網を置き動いてもらい、それに向け多く入れたほうの勝ちとし、紅組が勝ちました。勝った組は豪華な台所スポンジ、負けた組は無駄な汗を流したので温泉入浴剤を全員もらいました。

ちょうど生ビール樽も空になり、丹伊田執行委員の「この元気で暑さを乗り越え、組合員を増やして大会を迎えよう」と閉会の挨拶があり、終了しました。

(書記長 佐藤)

「雇止め撤回と雇用の継続」 を求め、東京地裁に提訴 CUみなと厚生会分会

私は、港区南麻布にある医療法人財団厚生会古川橋病院に、2019年4月1日から1年契約の有期雇用で入職し、今年3月末日で丸5年継続して勤務しました。昨年12月に病院より明確な理由



なく協議もされず契約終了を言われ、CUみなとに相談し、「雇用の継続」を求めて2回の団体交渉を行いました。病院の主張は、根拠及び、一貫性が無く、院長が3回目の団体交渉を約束しながら、一方的に果たされず、4月1日に「雇止め・解雇」を強行され、無期転換の権利も奪われました。

今年2月に同志の職員達と古川橋病院組織内にCUみなと厚生会分会を立ち上げ、4月からは、港区及び、近隣の労組の方々の支援をいただきながら、病院前スタンディングとビラ配布の活動を10日に1回のペースで実施しております。9月30日(月)10月16日(水)に午前8時30分～9時00分予定しています。

また、「雇止め撤回と雇用の継続」を求め、7月3日東京地裁に病院を提訴しました。8月23日、被告席は空席で第1回口頭弁論が行われ、傍聴席は、私の支援者により満席でした。第2回口頭弁論は、東京地裁10月9日(水)11:30から517号法廷で開催される予定です。

(CUみなと厚生会分会長 岩淵美和子・原告)

「AGCグリーンテック社 間接差別を認める判決確定 勝利報告集会」



8月30日、エデュカス東京にて、ユニオンちよだ主催で「AGCグリーンテック社 間接差

別を認める判決確定 勝利報告集会」を行いました。

鈴木真理委員長の開会の挨拶から始まり、鈴木書記長より7年間を振り返っての報告、弁護団(東京法律事務所 平井康太弁護士、今野久子弁護士、大竹寿幸弁護士、小林譲二弁護士)から判決の解説、当該組合員Aさんからの挨拶の際には、支援者の方たちよりたくさんの花束が贈られました。サプライズ来賓の田村智子日本共産党委員長より激励のご挨拶をいただきました。CU東京からは白滝書記長からご挨拶いただき、CU文京からも多くの方が参加してくださいました。WWN(ワーキング・ウイメンズ・ネットワーク)、東京地評、東京地評女性センター、新日本婦人の会・千代田支部など、60名以上の方にご参加いただき、お祝いのお言葉やエールをいただきました。*写真はAさんと弁護団
(ユニオンちよだ 鈴木真理)

本棚の奥から30年近く前のいしいひさいち作「ノンキャリアマン」が出てきた。女性一般職を風刺とナンセンスで仕立てた四コマ漫画。今では発売できるか、ギリギリの表現■ユニオンちよだが取り組んだAGCグリーンテック裁判では「一般職」「総合職」の処遇差を、女性社員への間接差別とする判決が確定した。女性には転勤がない、とするのは古い固定観念■港支部が取り組む看護師の有期雇用雇止め裁判が始まった。看護部長として実績があっても5年無期転換前に追い出す。看護職は圧倒的に女性が多い。女性だから不安定雇用でも構わないといった意識が、病院経営の根底にあるのでは■「業務委託契約」での不合理さを問う相談が続いた。指示された配送コースの軽貨物。1回1万円、燃料と車両費は自己負担。ルートも時間も決められた英語ツアーガイド。12時間拘束1万8千円。明らかに偽装請負だろう■父親ゆずりの解雇規制緩和を自慢げに説く自民党総裁候補。そんな政治は終わりにしよう。